

令和5年度 大館市立山瀬小学校 学校評価書(前期 (年度))

A 学校教育目標

ふるさとに学び、未来を拓く児童の育成

B 本年度の重点

もう一歩前へ チャレンジ！ 共感・協働・実践
 ～ たけのこの里で ぐんぐん伸びる たけのこ子 T・T・S(つながり 確かめ シンカする)で確かな学力を ～

○夢を育てるふるさとキャリア教育の推進
 ○夢の実現に向かう確かな学力の向上
 ○夢を支える豊かな心の育成
 ○夢を支えるたくましい体の育成

C 学校経営の特徴

学校経営の基本方針

- 子どもたちがふるさとのよさを知り、ふるさとを大切に思いながら、高い志を抱く学校づくり
- 一人一人の子どもが、もう一歩前へ踏み出し、積極的に学習や活動を行う学校づくり
- 教職員個々が使命感をもって実践と研修を重ね、子どもの人権を尊重し、学力や様々な可能性を伸ばす学校づくり
- 全校児童・全教職員が心をひとつにし力を合わせ、家庭や地域と連携・協働できる学校づくり

夢をもち、
やさしく、まじめに、
せいいっぱいがんばる子

目指す児童像

- 夢をもち
 - ・夢や目標に向かって粘り強く努力する児童
- やさしく
 - ・自他を大切にし、思いやりの心をもった児童
- まじめにせいいっぱい
 - ・自分の役割を果たし、基礎・基本となる学力を身に付けた児童

目指す学校像

- ・一人一人が認められ、「心の居場所」がある学校
- ・明るく、活気に満ちた学校
- ・児童が生き生きと楽しく学べる学校
- ・地域と連携、協働し、地域に開かれた学校

目指す教師像

- ・子ども一人一人を尊重し、温かく支える教師
- ・生徒指導の機能(自己存在感、共感的人間関係、自己決定)を生かし、子どもを育てる教師
- ・授業力向上と研修に励む教師
- ・家庭、地域と協力し合い、信頼される教師

経営の重点事項と具体的な取組

1 ふるさとキャリア教育の充実	2 確かな学力の向上	3 豊かな心の育成	4 たくましい体の育成
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の「ひと・こと・もの」を活用した多様な体験活動の推進 (たけのこプロジェクト～栽培活動・たけのこ紙作り・ふるさとを歩こうデー等～) ・地域の特色や伝統文化等を学ぶ探究活動の展開 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習習慣と基礎的、基本的な学力の定着 ・主体的に学び高め合う学習指導(やませっ子学びのスタイル)、「つながる場」「たしかめる場」「シンカする場」の充実 ・自分の考えを根拠をもとに話せる児童 ・UDの視点を取り入れた個に応じた指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・元気な挨拶と返事や整理整頓、時間を守る等の基本的な生活習慣の定着 ・議論することを通して道徳性を育む道徳科の充実 ・思いやりの心や豊かな心を育む特別活動、読書活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・体力テストの結果を生かした効果的な体力づくりの推進 ・運動の楽しさを味わい、基本的な知識や技能を身に付ける体育学習の充実 ・望ましい生活習慣を確立する食育、保健教育の推進

学習規律の徹底と生徒指導の機能を高めた学級経営が基盤

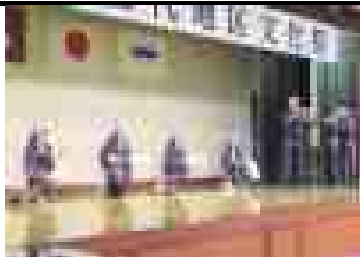
かいなを組み、OJTを通して学び合い、同僚性を高める「チームやませ」

学校間・家庭・地域との連携

- OPTA活動
- 地域学校協働活動
- ◎学校運営協議会
- 田代中学校区小・中連携研究会
- たしる保育園との連携
- 田代地域学校協働支援チーム
- 福祉教育推進事業

ふるさとに学ぶ

【代野番楽クラブ
田代地区文化祭】



もう一歩前へ チャレンジ
共感・協働・実践

【やませっ子マートで
販売する6年生】



令和5年度学校評価一覧(年度)

学校名(大館市立山瀬小学校)

学校の重点	◇夢を育てるふるさとキャリア教育の充実	もう一歩前へ チャレンジ! 共感・協働・実践 ～たけのこの里でぐんぐん伸びる たけのっ子 T・T・S で確かな学力を～ つながり たしかめ シンカする	評価区分(達成度) きわめて良好(100%以上) 良好(80%以上達成) おおむね良好(60%以上) やや不十分(60%未満) 努力を要する(40%未満)
	◇夢の実現に向かう確かな学力の向上		
	◇夢を支える豊かな心の育成		
	◇夢を支えるたくましい体の育成		

大人間の基礎力・キャリア教育(未来・大館市民実践力の育成)	評価項目		自己評価A	運営協議会評価	評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B
	I 自主的・自立的な生活	規律ある落ち着いた生活を送りながら自分を律し、夢の実現に向けて努力しようとしている。	おおむね良好	おおむね良好	1 基本的な生活習慣の確立	(1) 明るく元気で心のこもった挨拶と落ち着いた校内生活の励行	・運営委員会と学年ごとの「挨拶運動」、小中連携「挨拶運動」・「地域の人への挨拶カード」の実施 ・運営委員会「廊下歩行運動」の実施 ・「次代を担う田代の子～夢の実現に向けての自立プラン～」の実施	3
II 思いやりの心たくましい心	自他を大切にし、互いに認め合い、切磋琢磨し合いながら安心した学校生活を送り、豊かな人間性を育もうとしている。	良好	良好	3 思いやりの心の育成	(2) つながりを強めて、夢や目標に向かって努力する機会の充実	・夢を育む環境づくり(職員室前に全校児童の夢の掲示、各学級に一人一人の目標掲示) ・「たけのこプロジェクト」(農園収穫・販売活動、和紙づくり等)による目標に向かう力を育む取組	4	
					(3) 自他を大切にし、温かな思いやりの心を育む活動の充実	・児童理解のためのアンケート・教育相談の実施・道徳科の充実・授業での振り返りの実施・互いを認め合う学級づくり・掃りの会での「今日の〇〇さん」の紹介	4	
					(4) つながりを強めて、思いやりの心を育てる特別活動の推進	・「花丸ニュース」・縦割り活動・異学年(学団)交流 ・比内支援学校との交流(5、1年) ・「思いやりの木」運動、掲示	4	
III 健康と体力	食や運動を通じて健康や体力への関心をもち望ましい生活習慣を形成しようとしている。	良好	良好	4 健康と体力の向上	(5) 豊かな心を育む読書活動の充実	・家庭と連携した読書活動の充実(うち読日本一周)・屋読書の工夫(図書室、ビンゴカードの活用)・読み聞かせ活動の充実、おはなし会・必読図書の推進	3	
					(6) 体力づくりの推進と体育学習の充実	・休み目の体力づくり(マラソントイム、鉄棒ギネス、ボールギネス) ・体育委員会主体の集団遊びの工夫と実施	4	
IV 基礎学力	意欲的に授業に臨み、基本的学習習慣を身に付けながら、学力を向上させようとしている。	良好	良好	5 確かな学力の育成	(7) 適切な食習慣・生活習慣形成のための指導と家庭との連携	・食に関する啓発活動(給食だより、昼の放送・食育タイム)・メディアコントロール週間の実施・健康花丸チェック・1、2年手洗い教室(ブラックライト体験)	4	
					(8) 基本的学習習慣の徹底	・学習態度や話型の指導・学習環境の整備 ・家庭学習の習慣化(手引きの活用、自学紹介コーナー、自学花丸デー、ノート展、自学を見合う会、家庭学習強調週間の実施)	4	
					(9) 基礎・基本的な学力の定着	・意図的、計画的な繰り返し指導(ドリル学習、百マス計算、新聞ワークシート、ミニテスト等)・個に応じた指導の工夫(TT)・パワーアップタイムの実施・辞書引きコンクール	4	
V 安全・安心	児童の安全確保に取り組んでおり、諸問題への組織的対応が図られている。	良好	良好	6 安全教育と安全管理の徹底	(10) 共感的・協働的に学び合う学習指導の充実	・やませっ子学びのスタイル(つながる場、たしかめる場、シンカする場)の活用 ・授業での学び合い、話し合いの場(たけのっ子タイム)の設定と充実・学習リーダーの育成	4	
					(11) 安全教育の徹底による安全意識の高揚	・クマ対策集団登校、下校指導・避難訓練(火災)の実施、消火器の使い方・生徒指導部だより「すこやか通信」の発行・地区児童会(危険箇所の確認等)	4	
VI 保護者・地域との連携	学校の取組が分かりやすく保護者や地域に伝えられ、地域の教育力が有効に活用されている。	良好	良好	7 地域の教育力の活用	(12) 地域や関係機関と連携した安全指導	・警察、交通安全協会、スクールガードリーダー、子ども110番の家、PTA等、各関係機関との連携・危険箇所確認及び看板設置・街頭指導・伊勢堂下方面登校時クマ対策見守りボランティアの依頼、協力・緊急メール配信	4	
					(13) 定期的で効果的な情報発信	・各便り(学校報、学年通信、保健便り、給食便り等)の発行、HP ・行事等におけるメール配信	4	
					(14) 地域の「ひと・こと・もの」を活用した豊かな教育活動	・地域素材、人材を活用した多様な体験活動の実施(農園収穫活動、稲刈り、舞茸栽培、やませっ子マーケット、たけのこ和紙作り、クラブ活動、校外学習、プルタブ・アルミ缶回収等)	4	

ア
児童の状況

学校評価Aと運営協議会の評価区分	きわめて良好	学校評価Bの評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

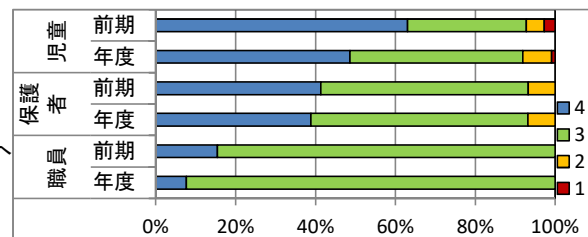
I 自主的・自立的な生活

児童の状況	学校評価A	運営協議会評価	運営協議会のコメント
規律ある落ち着いた生活を送りながら自分を律し、夢の実現に向けて努力しようとしている。	前期	おおむね良好	子どもたちの挨拶は学校ではよいが、地域ではあまりよくない、元気がないという声が聞かれる。集団登校では、低学年が高学年を見て鍛えられるいい機会なので、両端を歩く5、6年生が班員が元気に挨拶できるよう一声がほしい。下を見ないで、人の顔、地域を見て歩いてほしい。たけのこ和紙選別作業を見学したが、地道に作業を行ってとてもいいことをやっている。
	年度	おおむね良好	学校内での挨拶はよいが、校外での挨拶が課題。中学生が小学校へ来ての挨拶運動はあるが、小学生が中学校へ行って挨拶運動をやってほしい。知らない先生や中学生に挨拶する機会はよいと思う。夢や目標に向かっての努力は、やませっ子発表会や農園収穫・販売活動などで向上してきている。
善要と校学評の改概	<p>【前期(一年度)】〇挨拶や落ち着いた校内生活について、児童アンケートではよい状況である。挨拶は、今よりさらに積極的に大きな声で、お客さんや校外でもできるように呼び掛けていきたい。落ち着いた生活では、特に安全な廊下歩行について、運営委員会が集会や昼休みに呼び掛けており、今後も継続させたい。また、教室内でも学習規律の定着を図ってきたい。〇行事や活動には、一人一人の児童がめあてをもって臨み、事後は振り返りを行って次につなげるようにしている。今後もこのサイクルで、児童の夢や目標に向かって力を育てていきたい。</p> <p>【年度(一学年度)】〇熊の出没により、後半ほとんどの班で集団登校をしなかったこと、自家用車での送迎が挨拶に影響していたようである。校内生活では、廊下や給食ワゴンの通り道を走り、危ない場面があった。けがや事故が起きないように今後も安全な廊下歩行について指導しながら、委員会を活用して児童自ら気を付けるようにしていきたい。〇やませっ子発表会や農園収穫活動を通して、目標に向かって努力をした児童が多く見られた。来年度も行事や諸活動と関連させながら、児童が目標に向かって取り組むことを継続していきたい。</p>		

	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
1	基本的な生活習慣の確立 (1) 明るく元気で心のこもったあいさつと落ち着いた校内生活の励行	・運営委員会と学年ごと、小中連携の各「挨拶運動」・「地域の人への挨拶カード」の実施・運営委員会「廊下歩行運動」の実施 ・「次代を担う田代の子～夢の実現に向けた自立プラン～」の実施	3	3
2	夢に向かって努力する資質・能力の育成 (2) つながり強めて、夢や目標に向かって努力する機会の充実	・夢を育む環境づくり(全校児童の夢や目標の掲示) ・「たけのこプロジェクト」(農園収穫・販売活動、和紙づくり等)による目標に向かう力を育む取組	4	4

【各種データ】 ■職員 □保護者 ◎児童 (アンケート:4段階評価 4が十分達成 3がおおむね達成) ★実践事項
[1]に関するデータ ■□「子どもたちは、元気な挨拶ができる。」 ◎「あなたは、元気な挨拶ができましたか。」

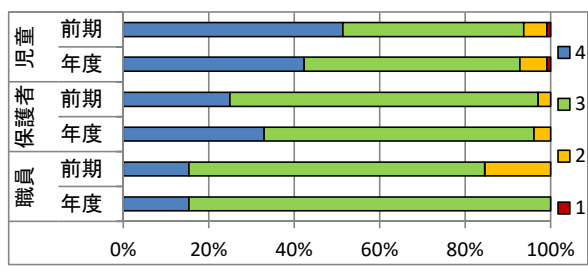
- ★ 児童会による挨拶運動の実施
 - ・児童会と学年ごとの挨拶運動 9月、1月
- ★ 田代地区小中連携挨拶運動 10月
 - 中学生と一緒に挨拶運動(次代を担う田代の子「笑顔であいさつ」)
- ★ 地域の人へ挨拶をしたら記入する挨拶カードの実施
- ★ 運営委員会による廊下歩行運動→安全で落ち着いた校内生活へ
- ★ 職員全体で児童への挨拶、廊下歩行等の言葉掛け



※2学期は1年生も元気よく挨拶運動を実施

※田代中学生と運営委員合同の挨拶運動

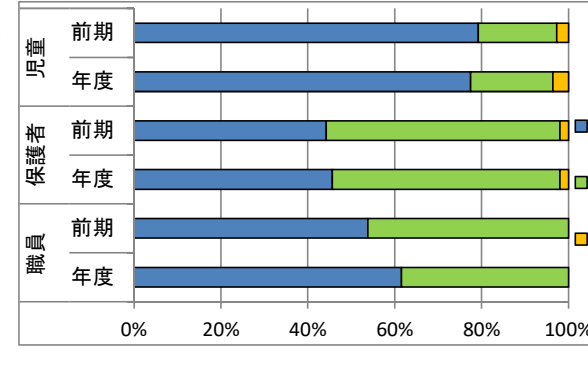
■□「子どもたちは、ルールを守り落ち着いた生活をしている。」
◎「あなたは学校でルールや約束を守り、落ち着いて過ごしましたか。」



- [2]に関するデータ
- ★ 夢に向かう力を育む取組(ふるさとキャリア教育)
 - 〇職員室前廊下の夢の掲示と各学級に一人一人の目標掲示
 - 〇行事や委員会・係などと関連させた取組
 - ・毎月の月目標設定(学団ごと)
 - ・目標に向かって努力する取組と振り返り～例:係活動、やませっ子発表会、「10歳を祝う会」(4年生)、委員会活動、等
 - 〇「たけのこプロジェクト」の推進
 - ・農園収穫活動、販売活動、やませっ子マーケット
 - ・たけのこ和紙づくり(たけのこ皮煮、すりつぶし、紙すき作業)

※4年生「10歳を祝う会」で一人一人が生い立ちや夢、家族への感謝等を発表

■□「つながり強めて、夢や目標に向かって努力する機会が充実し、目標に向かう力を育む取組がなされている。」
◎「あなたは、夢や目標をもって、友達と力を合わせて毎日の生活をがんばることができましたか。」



ア 児童の状況

II 思いやりの心・たくましい心				
児童の状況		学校評価A	運営協議会評価	運営協議会のコメント
自他を大切に、互いに認め合い、切磋琢磨しながら安心して学校生活を送り、豊かな人間性を育もうとしている。	前期	良好	良好	ヒアリングをした先生、子どもたちからは、思いやりがある、リーダーシップを発揮している人が多い、友達を大事にしたい、などの話を聞き、つながりを強めて、思いやりの心が育っていると感じた。読書活動については、本屋さんも少なくなり、映像コンテンツ等が多すぎて活字を読む文化が少なくなっている中で、少しでも本を読もうとする毎日の読書活動は継続してほしい。
	年度	良好	良好	アンケートの結果が前期とそう変わっていないので、評価はこのままでよい。読書については、読書を楽しんでいる児童が50%は、実は高いのではないかと。森山さんの企画やドリームライブラリーさんの読み聞かせを通していい方向に向かっている。
学校の評価改善の概要と	【前期(→年度)】	○いじめアンケートで訴えがあった場合、すぐ聞き取りを行い、事実関係を把握しそのいじめが継続しないよう努めてきた。道徳の授業を大事にしながら、思いやりの心が育つ学級経営を今後も推進していく。○児童は係や縦割り班活動等で、友達と協力している姿が多く見られ、また児童アンケートからも分かる。コロナ禍も落ち着いたため、異学年(学団)交流も多く実施できるようになってきたので、関わり場をつくりながら、思いやりの心を育てていきたい。○読書については、昼読書や図書委員と田代ドリームライブラリーの皆さんによる読み聞かせを行い、本に親しむ取組をしている。児童アンケートではよい傾向にあるので、家庭でも時間を作って読書できるよう、「うち読」を継続していきたい。		
	【年度(→次年度)】	○前期同様、いじめアンケート後の面談を実施し、児童が安心して学校生活を送れるよう職員一同取り組んでいる。今後も、道徳の授業をしっかり行い、児童の心の育成に務めていきたい。○児童会主体の「思いやりの木運動」や「花丸ニュース」などから、友達に親切をしたり、されたりする児童が多い。学級内や縦割りでの活動でも、友達と協力しながら行っているため、今後も継続させていきたい。○「読み聞かせ」や「おはなし会」を通して、感想発表からは物語や絵本に興味をもっている児童が多い。家庭では、スポ少や習い事、自学等で忙しく、読書ができない児童が多いと思われる。昼休み図書室で集中して読書をしている児童もいるので、引き続き学校で読書に興味・関心をもつ児童を育成していきたい。		

評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
3 思いやりの心の育成	(3) 自他を大切に、温かな思いやりの心を育む活動の充実	・児童理解のためのアンケート・教育相談の実施 ・道徳科の充実 ・互いを認め合う学級づくり	4	4
	(4) つながりを強めて、思いやりの心を育てる特別活動の推進	・花丸ニュース・縦割り活動・異学年(学団)交流・比内支援学校との交流(1・5年)・思いやりの木運動、掲示	4	4
	(5) 豊かな心を育む読書活動の充実	・家庭と連携した読書活動の充実(うち読)・必読図書 の推進・昼読書の工夫・読み聞かせ活動の充実	3	3

[各種データ] ※データは前期 ■職員 □保護者 ◎児童 ★実践事項

[3]に関するデータ

■ 「子どもたちに、自他を大切に温かな思いやりの心が育っている。」
 ◎ 「あなたは相手の立場にたって気持ちのよいやさしい言葉づかいができましたか。」

★児童観察と教育相談

- ・いじめアンケート後の個人面談
- ・長期休業中の全保護者との個人面談、スクールカウンセラーの活用

★児童を語る会・いじめ不登校対策委員会

- ・児童の様子を把握し、適切な指導ができる校内体制と関係機関との連携

★道徳科の充実

- ・物事を多面的、多角的に考えられる指導方法の工夫、道徳コーナーの設置

★互いに認め合う学級づくり

- ・授業での「振り返り」の発表後の認め合い
- ・善行を認め合う、帰りの会での「今日の○○さん」の紹介
- ・車いす体験を通して学んだ、心のバリアフリー(4年生)

[4]に関するデータ

■ 「思いやりの心を育てる特別活動を推進している。」
 ◎ 「あなたは友達と協力しながら係・委員会・当番活動や縦割り班活動に取り組むことができましたか。」

★思いやりと奉仕の心を育てる取組の具体例

- 花丸ニュース ○縦割り清掃活動 ○異学年(学団)交流
- 比内支援学校との居住地校交流(1・5年)
- 思いやりの木運動、掲示 ○大館市子どもサミットへの参加
- ペットボトルキャップ、プルタブの回収

[5]に関するデータ

★読書の奨励

- ・家庭と連携した読書活動の充実(うち読日本一周)・必読図書の推進・昼読書の工夫(図書室、ピンゴカードの活用等)
- ・読み聞かせ活動の充実(図書委員会・たしろドリームライブラリー・森山里望さん)

※森山さんによる「おはなし会」の実施(11月)

■ 「子どもたちは、本に親しんでいる。」 ◎ 「あなたは、進んで読書をすることができましたか。」

ア 児童の状況

Ⅲ 健康と体力

児童の状況	学校評価A	運営協議会評価	運営協議会のコメント	
食や運動を通じて健康や体力への関心をもち望ましい生活習慣を形成しようとしている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	歩こうデーは、子どもたちは楽しみにしている行事で、体力的に大変なところを頑張るといったとてもいい経験ができる。子どもたちに、越山・山田地域で歩こうデーの宣伝活動をしてほしい。にぎやかさと子どもの笑顔がある場面をもっと多くの人に見てほしい。体力テストは高学年が高まっておりよい傾向である。メディアコントロールは、家庭でやらせるのが前提だが、学校で意識付けをお願いしたい。
	年度	良好	良好	体力テストの結果が全国平均を上回り、120は相当高い。子どもたちの運動の機会が適宜設けられ、子どもたちもそれを楽しんでいる。学校に寄贈されているポッチャも楽しめるので助めたい。健康面については、歯磨きや手洗い教室などよく行っており、続けてほしい。

と学校校評の価改の善概要

【前期(一年度)】○運動会やふるさとを歩こうデーに向けて、マラソントイムを設定した。運動会では、実施方法を工夫しながら持久走を行い、子どもたちは保護者や色別の応援を受けながら走る事ができた。また大館市の「チャレンジデー」にも参加し、マラソンや長縄跳びに取り組んだ。○低学年と高学年に分けて学校歯科医の山尾先生から、歯磨き教室を実施し、歯の健康について学ぶことができた。給食に関して食事時間を20分は設定を、という指摘があり、現在も20分設定だが準備が遅れることもあるため、2学期から給食時間を5分延長した日課を行っている。児童が健康になる望ましい生活習慣形成を目指して、保健委員会による「健康花丸チェック」等、メディアコントロール力を高める取組を継続していきたい。

【年度(一年度)】○体育委員会が昼休みに、マラソントイム、鉄棒ギネス、ボールギネスを行い、各種運動をする機会をつくった。3学期は、なわとびギネスも計画している。自由参加だが、昼休みに運動ができる機会を今後も増やしていきたい。○栄養教諭が保健や家庭科、学級活動の時間に食に関する指導を全学年に行い、児童は食事の重要性やマナー等を学ぶことができた。PTA研修会では、メディアとの付き合い方について学校医から講話していただいた。今後も児童がメディアコントロールをしながら健康な生活習慣ができるよう、保健委員会の活用など児童の主体的な取組を行っている。

評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
4 健康と体力の向上	(6) 体力づくりの推進と体育学習の充実	・昼休みの体力づくり(マラソントイム、鉄棒ギネス、ボールギネス) ・体育委員会主体の集団遊びの工夫と実施	4	4
	(7) 適切な食習慣・生活習慣形成のための指導と家庭との連携	・食に関する啓発活動 ・メディアコントロール週間・健康花丸チェック・1、2年生手洗い教室	3	4

【各種データ】 ※データは前期 ■職員 □保護者 ◎児童 ★実践事項

[6に関するデータ] ■「体力づくりや体育学習を充実させ、体力の向上に努めている」 □「子どもたちは、外遊びやスポーツに親しみ、体力づくりに努めている」

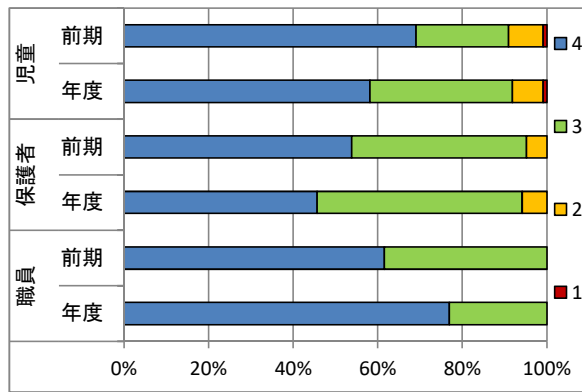
★ 体力づくりの取組

- マラソン運動、鉄棒ギネス、ボールギネス～昼休みに実施
- ・カードの活用と掲示により、めあてをもたせ意欲を高めている。
- ・強調月間の設定
- ・体育委員会による縦割り班対抗遊び(鬼ごっこ、ハンター)の実施

※ボールギネスで傘をめがけてシャトルを投げる子どもたち



◎「あなたは、体育の時間や休み時間に(マラソンなど)進んで運動しましたか。」



★ 新体力テスト

- 実施日 5月中旬～6月上旬
- 実施種目
 - ・握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、シャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げ
- 実施結果の配付(個人票) 1学期

<今年度の5年生体力テストの結果>

R5 体力テスト		男	女
体力合計点平均値を全国100としたときの指数	秋田県5年生	104	106
	本校5年生	126.3	121.8

※毎年5年生のみがスポーツ庁へ報告し、結果が公表。県へは全校分提出済みだが、結果まだ未公表。5年生は、国、県平均を上回り良好な状況である。

[7に関するデータ]

- ★ 栄養教諭による食の啓発活動(給食だより・昼の放送・食育)給食指導のめあての設定と掲示(食育掲示板)
- ★ 養護教諭による1、2年生手洗い教室、ブラックライト体験の実施
手洗いでよく洗われていない所を知り、実際の手洗いに生かす。全学年への歯みがき指導
- ★ メディアコントロール週間の実施、保健委員会による「健康花丸チェック」、望ましい生活習慣を形成へ
- ★ 学校保健委員会、PTA研修会、学校医からの健康に関する助言

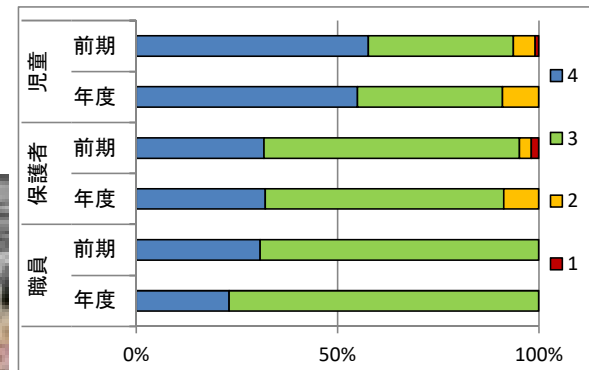


栄養教諭から学ぶ保健授業



ブラックライトで手洗いを確認

- □ 「子どもたちに望ましい生活習慣・食習慣が身に付いている。」
- ◎ 「あなたは、早寝・早起き・朝ご飯など、規則正しい生活をしていますか。」



ア 児童の状況

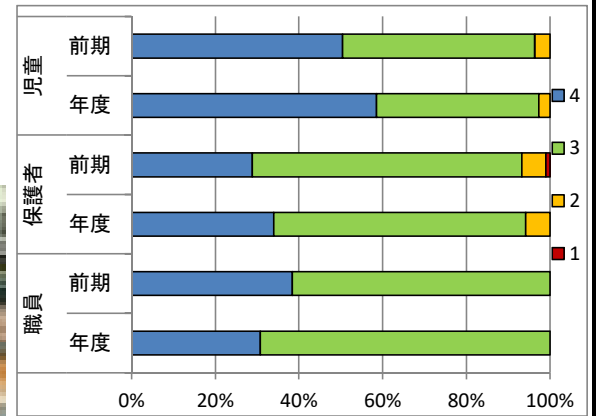
IV 基礎学力

児童の状況	学校評価A		運営協議会評価		運営協議会のコメント
	前期	年度	前期	年度	
意欲的に授業に臨み、基本的学習習慣を身に付けながら、学力を向上させようとしている。	前期	良好	良好	良好	発表している人を見て聞く、先生の言葉に対して返事をするといったことがきちんとやられ、低学年から学年が上がる流れの中で身に付いていったものと思うので継続してほしい。ノートの書き方も毎日の積み重ねがあることが分かった。学力テストの結果から県の平均よりも高いのは驚いた。声のものさしについて、学級での発表や友達同士の話し合いの声、挨拶の声等、聞こえる声で話ができる子どもに育ててほしい。学習リーダーが活躍する授業も期待したい。
	年度	良好	良好	良好	
と学校 校評 の価 改の 善概 要	【前期(一年度)】〇月別の重点目標を各学級で確実に取り組み、学習規律が身に付いてきている。また、家庭の協力を得ながら家庭学習の習慣化や自学ノート展や自学を見合う会等で、より学力が身に付く自学の仕方を学んでいる。〇朝学習や意図的な繰り返し指導等で、基礎・基本的な学力の向上を図っている。4月に実施した全国学力・学習状況調査の結果を分析し、不足の力を育てていきたい。〇共感的・協動的に学び合う学習を目指して、「やませっ子学びのスタイル」を推進している。今後は、学習リーダーの育成をしながら、より主体的に子どもたちが学んでいく授業を目指していきたい。				
	【年度(次年度)】〇学習規律を身に付け、友達の自学ノートを参考に、自分の自学を頑張っている児童が増えてきている。〇朝学習等の継続と授業で学んだことを確認する確め問題を確実に実施することにより、基礎的・基本的な学力を身に付けている児童が多い。〇「やませっ子学びのスタイル」で授業が展開されることを児童も習得し、学年の発達段階に応じた「学習リーダー」を育成しながら、共感的・協動的に学び合っている。今後も継続していきたい。				

	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
5 確かな学力の育成	(8) 基本的学習習慣の徹底	・学習態度や話型の指導・学習環境の整備 ・家庭学習の習慣化	3	4
	(9) 基礎・基本的な学力の定着	・意図的計画的な繰り返し指導・個に応じた指導の工夫 ・パワーアップタイムの実施・辞書引きコンクール	4	4
	(10) 共感的・協動的に学び合う学習指導の充実	・やませっ子学びのスタイル(つながる場、たしかめる場、シンカする場)の活用 ・授業での話し合い、話し合いの場(たけのっ子タイム)の設定と充実・学習リーダーの育成	3	4

【各種データ】※データは前期 ■職員 □保護者 ◎児童 ★実践事項
 [8に関するデータ] ■ □ 「子どもたちに基本的な学習習慣が身に付いている。」
 ◎ 「あなたは、授業中、学習の約束をしっかりと守って勉強し、家庭学習も毎日続けましたか。」

★学習指導部・研究部による計画的な取組
 ○「学習の約束」の徹底
 ・「次代を担う田代の子～学習の約束～」と月別重点目標による学習規律の徹底
 ○家庭学習の習慣化
 ・家庭との連携を図る「家庭学習の手引き」の活用
 ・自学紹介コーナー、ノート展、家庭学習強調週間の実施
 ・自学花丸デー、自学を見合う会(学団)の設定
 ○学習環境の整備
 ・「話し方・聞き方名人」
 ・「やませっ子学びのスタイル」
 ・「声のものさし」
 ※ペアでの学習



[9に関するデータ]
 ★意図的計画的な繰り返し指導の実施状況
 ○ぐんぐん学習の推進、朝学習の活用
 ・ドリル学習・百マス計算・新聞ワークシート
 ・ミニテスト・百マス計算大会・辞書引きコンクール
 ○各種テスト、ノートチェック、学習アンケート実施
 ○個に応じた指導の工夫(算数TT)
 ○表現力を高める指導(やませっ子発表会、各種作品コンクール応募)
 ○パワーアップタイムの実施

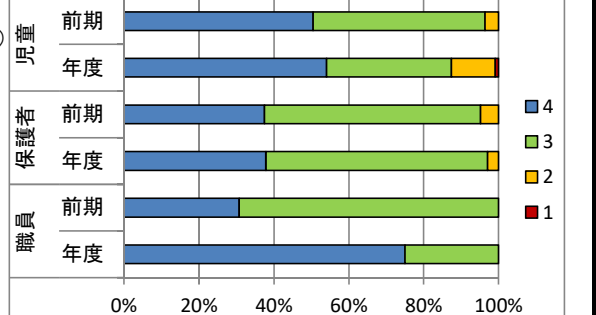
R5年度県学習状況調査(県平均通過率との比較)

年度	学年	国語	社会	算数	理科	結果から見た児童の状況
本校	4年	74.3	74.3	67.5	78.5	4年生以上、県平均を上回っている教科が多く、学力の定着が良好な状況である。今後は、調査結果の分析に基づいて、理解不十分などところの指導を行い、学力の向上を図りたい。
県平均	4年	74.3	74.3	67.5	78.5	
本校	5年	63.7	74	70.8	68.8	
県平均	5年	63.7	74	70.8	68.8	
本校	6年	74.9	73.6	68.7	83.8	
県平均	6年	74.9	73.6	68.7	83.8	

※県平均を100とした場合10%以上上回る◎
 10%未満上回る○

[10に関するデータ] ■ □ 共感的・協動的に学び合う学習指導が充実している。
 ◎ 「あなたは友達の発表を聞きながら、自分の考えを進んで発表することができましたか。」

★「共感的・協動的に学び合う学習指導の充実」を目指した取組
 ○つながる場(たけのっ子タイム:授業での話し合い・学び合いの場の設定)
 ※やませっ子タイム「ぐんぐん」のかけ声と動作で話し合いのスイッチが入る子どもたち(つながる場)



イ
学校運営
の状況

学校評価Aと運営協議会の評価区分	きわめて良好	学校評価Bの評価基準	5	目指す方向が共通理解され取組も組織的で意識が高く成果も顕著
	良好		4	目指す方向が共通理解され取組も組織的で成果が多く見られる
	おおむね良好		3	目指す方向が明確で一定の取組が行われており成果も見られる
	やや不十分		2	目指す方向がやや不明確で取組もばらつきがあり成果が安定しない
	努力を要する		1	目指す方向が不明確で取組体制や取組方に解決すべき課題が多い

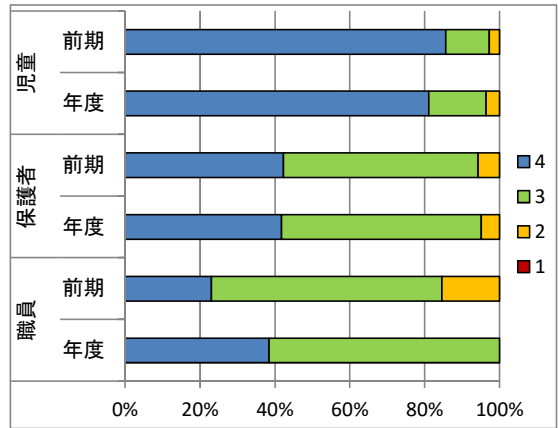
V 安全・安心

学校の状況	学校評価A	運営協議会評価	運営協議会のコメント	
児童の安全確保に取り組んでおり、諸問題への組織的対応が図られている。	前期	良好	良好	登校で高学年女子がケガをした低学年の世話をしていた場面を見たことがあり、感心した。登校班では下を向いて歩いている子どもが多い。また、集合場所に集まってきた時のお互いの挨拶がほしい。みんなが迎え入れて、一緒に歩くだけで楽しいと感じられる集団登校であればよい。今回の熊出没時で保護者へ緊急メールをし、集団下校を行ったのはよかった。
	年度	良好	良好	熊対策の安全指導はよかった。熊出没時の細やかなメールがよく、親も早めに動けて助かっている。地域に協力してもらうことによって、次や来年度につながる。今後は、熊登半島地震のような震災対策も盛り込んでほしい。
と学校校評の価改の善概要	【前期(一年度)】〇集団登校においては、班長を先頭にほぼ安全に歩行している。登校の仕方で心配な声が届いたときは、生徒指導主事が現場へ行き、一緒に登校しながら改善を図っている。また、4月早々に交通安全教室を行い、特に自転車の安全な乗り方について具体的な指導を受けた。今後も交通事故が起きないよう、注意を喚起していきたい。〇PTA生活環境部の皆様が、5月の連休前に危険箇所への注意喚起の看板を設置し、広い学区内での事故防止を呼び掛けている。スクールガードリーダーも時々巡回して見守っているので、関係機関と連携しながら事故防止に努めていきたい。			
	【年度(一次年度)】〇在校時間に熊の出没情報が入ったら、職員付き添いの集団下校を実施した。熊よけ用の鈴を購入し、班長に付けて集団登校を継続していた。また、全校集会で校長から熊の生態や注意すべきことの話をした。しかし、通学路の近くに熊の出没が継続したため、危険な地域は保護者の送迎となった。〇伊勢堂下方面で熊の目撃情報後、該当地域の方々に子ども見守りボランティアを募集した結果、7人の御協力をいただいた。10月後半はボランティアの方と一緒に集団登校ができたことは大変有り難かった。今後も地域力を借りながら、児童の安全確保に努めていきたい。			

評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
6 安全教育と安全管理の徹底	(11) 安全教育の徹底による安全意識の高揚	・熊対策集団登校下校指導、避難訓練(火災)、消火器の使い方・「すこやか通信」の発行・地区児童会	4	4
	(12) 地域や関係機関と連携した安全指導	・警察、交通安全協会、スクールガードリーダー、子ども110番の家、PTA等関係機関との連携・伊勢堂下方面熊対策見守りボランティアの協力・街頭指導・メール配信	4	4

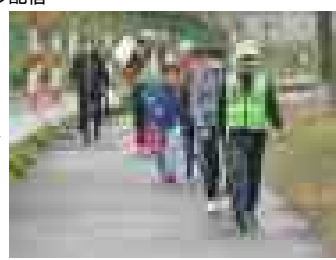
【各種データ】 ※データは前期 ■職員 □保護者 ◎児童 ★実践事項
 [11に関するデータ] ■ □ 「子どもたちに安全への意識が育っている。」
 【取組の具体例】 ★安全意識の高揚 ◎「あなたは学校の行き帰り、ルールを守って安全に歩くことができましたか。」

- 〇熊対策通学路の歩き方
 - ・集団登校、下校での通学路一部変更(谷地の平方面、国道7号線歩道を通行)
 - ・集団登校班長、熊よけ鈴の携帯
 - ・全校集会で、校長が熊の生態や注意すること等を講話
- 〇避難訓練
 - ・火災想定避難訓練 10月27日～火災発生時の避難の仕方
 - ・消火器の使い方(田代消防署指導)
- 〇生徒指導部より「すこやか通信」の発行
 - ・集団登校の確認、自転車の乗り方
 - ・夏休みの暮らし方
 - ・冬休みの暮らし方
 - ・「次代を担う田代の子 自立プラン」への継続的な取組
- 〇地区児童会
 - ・危険箇所の確認等

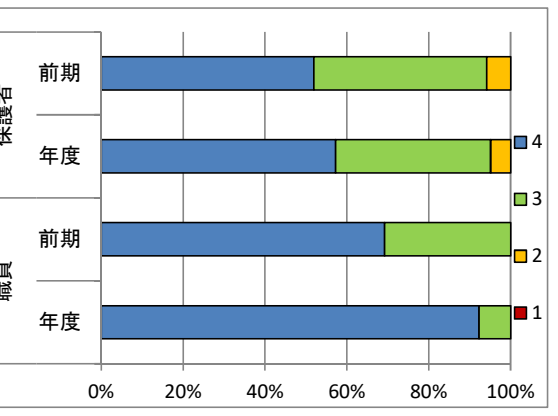


※田代消防署員の指導で消火器の使い方を学ぶ

- [12に関するデータ] ★PTAやスクールガードリーダー等の連携
 - ・PTA生活環境部との定期的な街頭指導の実施、スクールガードリーダーからの安全指導
 - ・生徒指導主事による集団登校現場指導
 - ・大柳、善知鳥坂、伊勢堂下、赤沼方面に熊対策見守りボランティアの協力依頼、集団登校での同行(10月後半)
- ・保護者による自家用車で送迎(熊対策)
- ・子ども110番の家の確認
- ・PTA生活環境部による危険箇所の確認と看板設置、撤去
- ・安全に関する緊急メール配信



※見守りボランティアによる伊勢堂下方面集団登校



■ □ 「家庭や地域の人々の協力を得ながら、子どもたちの安全確保に努めている。」

イ 学校運営の状況

VI 保護者・地域との連携				
児童の状況		学校評価A	運営協議会評価	運営協議会のコメント
学校の取組が分かりやすく保護者や地域に伝えられ、地域の教育力が有効に活用されている。	前期	良好	良好	保護者からのヒアリングでは、紙ベースのおたより、やませっ子(学校報)があることで常に目につけていれる、有り難いという話があった。頻繁に出るメールにも助けられている。おたより、メール等は丁寧でよいが、簡潔書き等、内容をシンプルにした方が分かりやすいという声もあった。地域との連携では今年、クラブ活動に代野音楽も行っていて頑張っている。
	年度	良好	良好	農園活動やたけのこ和紙作りなどいろんなことをやっている。地元企業見学や、音楽クラブなど地域と関わっている。先生方が負担にならないように、この学校運営協議会と田代地域学校協働支援チームで情報共有しながら学校を支援できたらよい。
学校校の評価改善の概要と	【前期(一年度)】	○学校からの情報発信では、先生方の働き方改革の一つとして、学年だよりを隔週発行し、代わりに月の主な行事と下校予定時刻の一覧表を配付している。学校だよりでは、引き続き学校、子どもの様子等をお知らせしている。HPについてはなるべく早く更新していきたい。また、天候に左右される行事の実施や緊急時には、メール配信を行ってきた。今後でもできるだけ早い情報提供を心がけていきたい。○クラブ活動では、伝統芸能に触れる機会として、新しく(番楽)クラブを設けた。今年度も子どもたちが一層ふるさとへの愛着心を醸成できるよう、地域の協力を得ながらふるさとキャリア教育を推進していきたい。		
	【年度(一年度)】	○前期に引き続き、月行事・下校時刻一覧表や学年・保健・給食だより、学校報を発行し、学校や児童の様子をお知らせし、食や保健面での情報提供をしている。HP等の活用ももっと考えていきたいが、地域に学校の様子を理解していただくためには、やはり紙媒体が適切であると考え、今後も学校報「やませっ子」を充実させていきたい。メール配信は、後半は熊の出没情報が多くなった。○「たけのこプロジェクト」では、地域の御協力により充実した活動ができた。クラブ活動でも外部講師から本物を学び、地元の各施設等の見学学習等、ふるさとキャリア教育を推進することができた。田代地区文化祭で4年生有志の踊りと音楽クラブが発表を行い、観覧された皆様に喜ばれたのもとてもよかった。以上の活動は、今後も継続していきたい。		

評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
7 地域の教育力の活用	(13) 定期的で効果的な情報発信	・各便りの発行、HP ・行事等におけるメール配信	4	4
	(14) 地域の「ひと・こと・もの」を活用した豊かな教育活動	・地域素材、人材を活用した多様な体験活動の実施	4	4

【13に関するデータ】※データは前期 ■職員 □保護者 ◎児童 ★実践事項

【取組の具体例】

★学校からの情報発信、情報交換等

○学校だより「やませっ子」の発行と配付、HPでも紹介

- ・毎月発行(学校の出来事、来月行事のお知らせ)
- ・行政協力員との連携による学区内配付

○学年だよりの配付

- ・隔週発行(学年の出来事や予定)

○月の主な行事と下校予定時刻表の配付

○保健だより・給食だよりの配付

○行事や緊急連絡等のメール配信

○学校教育アンケートの実施

○PTA活動、スポーツ少年団打合せ等による情報共有

○教育相談等による情報交換

- ・年3回の教育相談週間
- ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーによる教育相談
- ・学担による個人面談
- ・各関係機関との連携(北教育事務所、市教委、少年教育相談センター、子ども課、児童クラブ、小・中・保)

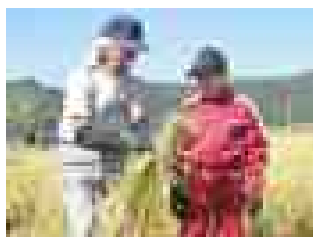
【14に関するデータ】

★「ひと・こと・もの」を生かした体験活動の充実

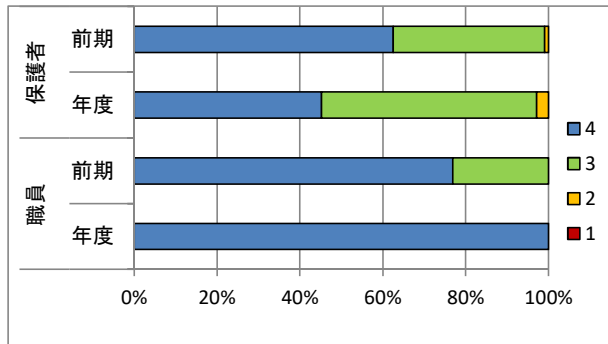
○ふるさとキャリア教育の推進

- ・クラブ活動における地元講師の活用(六つのクラブ)
- ・学校運営協議会、田代地域学校協働支援チームでの情報交換、支援の依頼
- ・「たけのこプロジェクト」を核とした体験活動への支援
- 農園収穫活動(さつまいも、ポップコーン、もち米、舞茸)、販売活動(たけのこ館で、舞茸委託販売、6年直接販売やませっ子マート)、たけのこ和紙作り(皮煮作業、すり潰し作業、紙すき作業)、プルタブ・アルミ缶回収等
- ・地元の方からの地域学習への協力、各施設見学学習
- 山田地区 Storeたんひ しらかみフーズ(生ハム工場)、みちのく食品、岩瀬地区 森永乳業、グリアス、ユップラ
- ・田代地区文化祭への参加 4年生有志 音楽クラブ
- ・早口小との交流(3年生 紙すき)

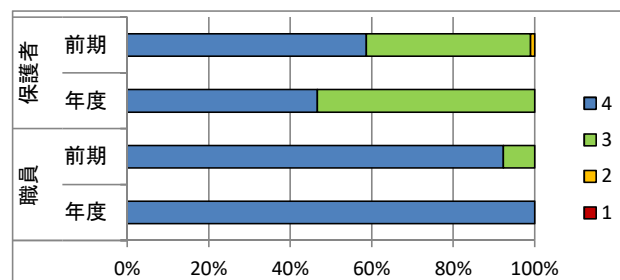
※赤川地域資源保全隊の皆様から学んだ5年生稲刈り.....



■ □ 「定期的、効果的に学校の様子を情報発信している。」



■ □ 「地域の『ひと・こと・もの』を活用した豊かな教育活動が行われている。」



◎「あなたは、地域の人やおうちの人などが勉強を教えたり、手伝ってくれたりする授業や体験活動が楽しいですか。」

